

令和7年第16回厚岸町教育委員会会議録		
招 集	日 時	令和7年12月23日 午前10時00分
	場 所	厚岸町役場 2階 庁議室
開 会 日 時		令和7年12月23日 午前10時00分
閉 会 日 時		令和7年12月23日 午前10時17分
出 席 委 員		田 辺 正 保
		濱 秀 利
		森 脇 直 美
		成 澤 幸 恵
欠 席 委 員		
会議録署名 委 員	教 育 長	滝 川 敦 善
	委 員	森 脇 直 美
会 議 出 席 者	教 育 長	滝 川 敦 善
	事務局職員	管理課長 諸 井 公 指導室長 藏 光 貴 弘 生涯学習課長 車 塚 洋 厚岸情報館長 川原田 恵 海事記念館長 菅 原 卓 己 B&G海洋センター所長 千 葉 隆 行 温水プール館長 石 田 秀 之 管理課補佐兼総務係長 余 西 弘 希
	その他の者	

議事日程

日程	議案番号	付 議 事 件
1		開会
2		会期の決定
3		前回会議録の承認
4		会議録署名委員の指名
5	(報告)	
	報告第10号	教育長の報告すべき事項について
	報告第11号	教育長の報告すべき事項について
6	(議案)	
	議案第53号	厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について
	議案第54号	厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて
	議案第55号	厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について
7		閉会

## 令和7年第16回厚岸町教育委員会

令和7年12月23日

午前10時00分開会

●教育長      ただいまから、令和7年第16回厚岸町教育委員会を開会  
します。これから、本日の会議を開きます。

    なお、本日の日程は、既に配付されている日程表のとおり  
であります。

●教育長      日程第2「会期の決定」についてであります。委員会の  
会期を本日、12月23日の1日間としてよろしいですか。

●教育長      それでは、会期を本日12月23日の1日間といたします。

●教育長      日程第3、「前回会議録の承認」についてであります。  
令和7年11月26日に開会した第15回教育委員会の会議録の  
承認についてであります。会議録署名委員の成澤委員、  
私がそれぞれ署名済みでありますので、これをもちまして  
承認とさせていただきます。

●教育長      日程第4、「会議録署名委員の指名」についてでありま  
す。本日の会議録署名委員は、会議規則第18条の規定によ  
り、田辺委員を指名いたします。

●教育長      日程第5、報告第10号「教育長の報告すべき事項につい  
て」を議題といたします。

    職員は、提案理由と報告内容の説明をしてください。

    ただいま上程いただきました、報告10号「教育長の報告  
すべき事項について」その内容をご説明申し上げます。議

**管理課長** 案書 1 ページをご覧ください。

厚岸町教育委員会会議規則による教育長の報告すべき事項として、教育委員会教育委員の任命について、次のとおりご報告いたします。

教育委員の任命は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき任命されておりますが、濱秀利委員の任期が本日12月23日をもって満了となり、濱氏から今期で退任したとの意向が示されておりました。

教育委員会委員の任命は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を得る必要がありますが、本年12月10日から開会されました、令和7年厚岸町議会第4回定例会において、教育委員の任命に対する同意を得たことから、本教育委員会で報告するものであります。

1、教育委員会委員の任命について任命する教育委員の氏名は 長谷川博一（ひろいち）氏 であります。

委員の住所、生年月日については、記載のとおりであります。長谷川委員の任期につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第5条第1項の規定により、令和7年12月24日から令和11年12月23日までの4年間となります。

以上、簡単ですが、報告第10号の内容説明とさせていただきますので、

ご承認賜りますようお願いいたします。

**●教育長** 内容は「教育長の報告すべき事項について」であります。これから質疑を行います。

(ありませんの声)

- 管理課長** なければ、これで報告第10号を終わります。

(異議なしの声)

- 教育長** 次に、報告第11号「教育長の報告すべき事項について」を議題といたします。

職員は、提案理由と報告内容の説明をしてください。

- 指導室長** ただいま上程いただきました、報告第11号「教育長の報告すべき事項」についてご説明いたします。

議案書2ページをご覧ください。内容は、令和7年度厚岸町立中学校卒業生進路志望状況についてであります。

それでは、説明させていただきます。報告第11号別紙をご覧ください。町内中学校3校の3年生55名に対して、12月5日までに各校で「三者面談」が実施されました。その中で確認された進路志望状況についてご報告いたします。対象生徒55名のうち54名が進学を希望しており、1名が家事従事等となっております。ページ下の進路状況の内訳をご覧ください。厚岸翔洋高校への志望数は、普通科が7名となっており、全体の12.7%となっております。(昨年度26.9%)

釧路管内への進学は、釧路湖陵高等学校6名、釧路江南高等学校3名、釧路北陽高等学校6名、釧路明輝高等学校8名、釧路工業高等学校4名、釧路商業高等学校3名、釧路東高等学校1名、武修館高等学校2名、釧路工業高等専門学校1名となっており、合計が34名で全体の61.8%とな

●指導室長 っております。(昨年度61.5%)

釧路管外及びその他への希望は13名で約23.6%となっております。

今回の調査は、12月現在の状況であり、今後、推薦志願者の決定や出願等が実施されます。出願状況その他によって、希望が変更となることもあります。

以上、大変簡単であります。令和7年度厚岸町立中学校卒業生進路志望状況についての報告を終わります。

●教育長 内容は「教育長の報告すべき事項について」であります。これから質疑を行います。

●成澤委員 これ個人情報に当たる質問かもしれませんが、湖陵の定時を1人選んだ理由って、お聞きしてもよろしいでしょうかね。

●指導室長 詳細については、個人情報に当たるため、ここでは差し控えさせていただきます。

●教育長 休憩します。

●教育長 再会します。

●教育長 今回、翔洋高等学校が先ほどの話では、なっていたんですけれども、翔洋の普通科7名のみというところで、その辺が今回話題になると思います、ご意見がありましたら伺えればと思います。

●濱委員 これは解決する方法は、難しいですよ。結局は、生徒

●**濱委員** の意向、希望なんで、いくら周りが言っても、それがあ  
から難しい問題だなと思うけど、どうやったら良いのかな  
と思います。頑張って町外から人を呼ぶって、頑張っ  
ても、肝心の町内の生徒が、希望しない学校という現状を、  
どうなのかなっていう気がします。果たしてこれが、地元  
に学校残すってことが、あくまでも親というか、年配の人  
のエゴなのかなという気もしいて、そこまでして高校を残  
して、意味あるのか、どうなのかっていうのを考えさせら  
れる進路志望状況の結果だという感想です。

残してほしいなどはすごく思うし、絶対残すべきだとは  
思うんだけど、実際はどうなんだろうっていうのを考えさ  
せられたなという、そういう感想を持ちました。

●**教育長** せっかくの機会ですが、感想でも構いませんので、一言  
お願いしたいんですけども。田辺委員。

●**田辺委員** 説明の中で、これから最終的にどういう風に変動がある  
のかとも思いますが、今濱委員のほうからも行っていたけ  
れども、海洋資源科のほうで厚岸町の地元の人がゼロとい  
うのがね。果たして、地元にある第1次産業の水産という  
ものを考えていった時に、地元はこの教育機関である高  
校、ここの存続というのは非常に大きな意味があるんだろ  
うというようなことで、この存続にかけたいろいろな働き  
かけだとかを聞いているんですけども、こういう形で地元  
がゼロ、地元も入らないところに他の地方から入ってくる  
魅力ってあるのかなというね、疑問もちょっと考えさせら  
れるような状況になるのかなと。そういうのが懸念されま  
すね。

●田辺委員　やはり地元、観光でも何でもそうなんだけど、地元の人たちが魅力感じられないところに、他からの人が魅力感じてよって言っても説得力に欠けてしまうのかな、いう数字がちょっと懸念されるっていうのがありますよね。

かと言って首に縄をつけて引っ張って来るわけにはいかないんでしょうけれども、なんとか地元にいる子供達に厚岸にある高校の魅力っていうのを、もう少し高めるような取り組みがなんかできればなど。これは感想ですけども。以上です。

●濱委員　一生懸命やってるような感じしてたんですけどね、結構そういう積極的に翔洋高校。だからその結果がこれだから、ちょっと考えさせられますね。大人達や子供達のにもどう感じ取られているかと考えさせられる内容ですね。自分も絶対、高校は必要だし、地元のね、今、田辺委員が言ったとおり、地元の産業を考えたら、絶対、必ずなくてはならないと、私たちは思ってるけど、意外とそうでもないのかもしれないなっていう。多分、意外と親とかの多分漁師やってる子供がいるかどうかわかんないけど、親とかの働きかけも意外とないのかなって思ったり、いろいろ考えさせられる結果だなっていうのは、単純に思いました。

●教育長　森脇委員。

●森脇委員　高校の海洋資源科の話だったんですけど、実際この高校のこの魅力、ここに行きたいのと、町の魅力っていうのかな、イコールものだと私は思っているんですよ。子供達がこの町の学校に行きたい、で、大人もこの、釧路がいい

●森脇委員 んじゃないのって言うってしまうような状況っていうのはあって、全体的にそのここに来て、漁師さんに、ここに行かなくてもいいっていう選択をしちゃっているってことなんで、高校もそうだし、この町全体の魅力っていうのかな。この町でこう、まあ学びたいっていう魅力がっていう、高校だけの問題じゃないと私は思っているんですよ。難しいと思うんですけども、やっぱり町に、大人も中学生の子どもここで学びたいという気持ちが必要かなと思っています。なので、高校は町にはあったほうがいいと思っています。高校の先生たちも頑張ってる、子供達もすごく忙しくて頑張って忙しくして頑張ってることは分かっているんですけど、ちょっとこう、閉鎖的なところがあると思っています。それは、外側の子供たちには伝わらない。町内の方たちにも伝わっていて、ちょっと外にやっぱり出ていきたいなって気持ちを聞くので。ちょっと話をまとめていくんですけど、こう町も高校もそこに住んでる大人も厚岸の町でこうやっていきたいっていう魅力を持てるようなプランを作らないとだめなのかなって思ってます。

ちょっと、こう話が飛びすぎてまとめきれないんですけど。実際やっぱり、高校はやっぱり最後のまであったほうがいいなと私は思っています。

●教育長 成澤委員

●成澤委員 翔洋高校は、去年いろんなプロジェクト、色々見に行かせていただいたりとか、いろんな発表見て、とても素晴らしいって言うか、いろんな実験とか面白そうだなっていう

●成澤委員 感じを受けました。

子供たちにとってみると、今はいろいろ人間関係とかもあるのか、選ぶ、普通に通うじゃなくて、ネットの高校とかもう増えて、そこを選ぶ子も結構増えてきてるのかなって印象があって。とりあえず1回外に出て見たいとか、ちょっと人間関係で疲れちゃうっていうことも、あるのかなとは思ってるんですけど、でも1回出てみたいって言って、出てみてやっぱり厚岸好きだから戻ってきたいっていう声も結構聞いたりもするので、今までやってきたことってというのは良いことだと思うんです。

去年とかもやってとても魅力のあることって、私は感じていたんですけど。ただ、その漁師さんとかは、楽観的な捉え方になるかもしれないですけど、ちょうどその今年の子供たちで、その漁師さんの子が少なかったとか、そういうのもあるのかなって勝手に、すごい無責任な感じで捉えています。

来年からは、どうだろう、来年はどうなるだろうなっていうので、今までやってきた活動をやっぱり続けて行ってほしいなっていうのと、やっぱり、子供たちが少なくなってきたっていうのもあるので、何とも言えないんですけど、存続して行ってほしいんです。

けど、ただ、そんな大人数っていうのは、無理なのかなって言う。諦めたくはないんですけど、存続して行ってほしいなっていう気持ちがあります。ただ、その免許、やっぱり海のいろんな免許が取れる高校で色んな勉強ができるっていうのは素晴らしいので、これからも町内、町内外発信して行けたらなど。今、私ができることと考えることは、それくらいかなと思っています。以上です。

●教育長 指導室長

●指導室長 今、委員の方々からお話いただいたこと本当にごもつともだになっていう風に思っていました、数字的などころですとか、あと本当にこの学校だけの問題ではなくて、その町全体としてお話も本当にごもつともだになっていう風に考えております。

その辺については、また、町で言うと、町長部局との連携っていうところもやっぱり必要になってくるでしょうし、我々その教育委員会というところで考えれば、やはり前々からお話しております、翔洋高校の生徒さんの活躍する姿っていうのをやっぱり小中学生の子供たちが間近に見るような機会を作っていきたいと考えています。まだまだ高校と連携して進めないと駄目でしょうし、実は、12月19日、ついで先日なんですけども、厚岸町の未来ミーティングっていう子供たちがこう一つのテーマについて一緒に考えるってような会議がオンラインで今年度、初めてやったんですけども、そこで、翔洋高校の生徒会の生徒さん3名が司会進行ですとか、あとグループ協議の中心になって話を進めてくれたりとか、かなり中心に進めてくれたんですね。

そこに小中学校の児童会、生徒会の子たちがしっかりのっかって話をすすめるという場面があったんですけども、すごくいいですよ、翔洋高校の生徒さん。もう力もあります、正直。そんな姿をいろんな場面で見ることによって、小中学校の子供たちが翔洋高校をひとつの進路の選択肢のひとつとしてしっかり認識できるような形に持っていくっていうのが大事なんじゃないかなと思っておりまし

●指導室長 て、そこから、まだまだ教育委員会も高校と連携を図りながら取り組みを進めていかないとダメだなんていう風に感じているところであろうかなと。

●教育長 海洋資源科がゼロなんですけども、外側から働きかけ方、管理課長の方で色々やっていたらいいんで、その辺の状況なんかをちょっとお話していただいてもいいですか。

●管理課長 それでは、私の方から翔洋高校に対する取り組みについて、ちょっと具体的なお話をさせていただきます。今年度、令和7年度の入学者につきましては、海洋資源科のほうが多くて、水産資源科の方が1桁という状況ではあったのですけれども、今回はこういう海洋資源科を希望する方が増えてきたという感じですね。

教育委員会のほうとしては、高校への支援っていう形で、これまで地域みらい留学もそうなんですけれども、卒業生のコメントを5人くらいいただいて、翔洋高校ではこういうことが楽しくて、こういうことを学んで、今こういう職についているという、実は、お便りみたいなものを下のロビーでも配布しているんですけども、そういうものを作成して町内の中学生全員に配布したり、あと近場では、釧路市内の中学校の方も、翔洋高校さんで出前学校説明会とかを行った形で入って、配布をしてはしたんですけども、普通科もそういうちょっと残念な結果になっていたというところでもあります。

先程、ちょっと、お話しさせていただいた地域みらい留学の子供も含めですけども、普通科、海洋資源科関係な

●管理課長 く、今年度、令和7年度において、1日体験入学生の参加者、これにつきましては、町内の中学生15人ということがあります。

全体としては41人。1日体験入学と、1日体験入学以外でも学校見学とかでも遠方の方も見られています。先程、言ったように、厚岸町の中学生3年生15人、釧路市内5人、釧路町7人、鶴居村1人、根室市1人、羅臼町1人、その他の道央圏内からは5人、道外からは1人ということで、地域みらい留学の関係では想定ですけれども、これは6人ぐらいです。魅力を感じて、ただこれにつきましては、普通科希望ではありません。全て、海洋資源科の調理コースという感じですか。私どもも、いろいろできることは手を尽くしてはいるんですけれども、また、ちょっと方向を変えてやっぱり地元の子供達が、近郊、釧路市含めですけども、ちょっと汽車通だとかバスとで来る生徒も含め、来年度ちょっと方向性を変えて、ここら辺の子供を中心に、翔洋高校さんの魅力をどう発信するかという支援をしていきたいなと思ってます。地域みらい留学が今2年やったんですけど、入ってきてる傾向にはあるんです。

ただ地元の子供に選ばれなければ元も子もないのかなっていう気もしますし、どんどん呼ぶのはいいんですけど、今度、寮の問題が出てくるんですよ。マックス18人しか入れないのにどうするんだとか。実際に、これは再来年、このままだったら溢れるんじゃないかってことで、今、高校さんと、寮以外に何かそういう寮的な子供を受け入れる体制ができないかということも協議を進めてますけれども、まずちょっと話が長くなりましたけど、まず、第1は、地元の子供、総合計画でもありますけれども、愛着、地元の愛着で

●**管理課長** すよね、いかに持っていただいてっていうのがキーになるのかなと思いますし、来年度の教育行政執行方針にも、ふるさと教育っていうことで力を入れて、これを入れていくってこともあるんです。

やはり、いかにこの地元の子供たちにこの厚岸に愛着を持って、さらには、翔洋高校の持つポテンシャルを、いかにこういうのがあるってことをアピールして、興味を持ってもらおうと言ったことを、ちょっとやっていかなきゃダメかなと思っております。

●**教育長** 私からひとつ、翔洋高校なんとかっていうあたり、これやっぱり町長部局と一緒にやってかないと教育委員会の部署で何とかなっていう話もないんですよ。それでいろいろこうやりながら、今、ちょっと外側に目を向けて、外側も入れていこうってことで、地域みらい留学、去年からやり始めました。周りの手を上げてる町村を見ると、1年目はあんまり成果が出ないって言われてたんですよ、これについては。ところが、うちはもう1年目からすぐ成果がバっとちょっと出たんですよ。そもそも、これを受けるところでの1番のポイントだったのは、外からの生徒が入ってくると、地元の子供たちの選択刺激がこう加速するっていうことか、グラフとして出てたんですよ。

他の町はそうなんですよ。外から入ってくると、なかなか、いいじゃんって言って、じゃあうちにと、いう風になっていくところで、その成果が出るのが今回だったんですよ。これを見ると今回成果が出なかったんですよ。これだけ外から入ってきて、じゃあ翔洋に入ろうかっていう選択に結びつかなかったっていうところが、ちょっと、こ

## ●教育長

ちらとしては、えっという形でした。

先程、課長も言ったように、ちょっと方向をちょっと変えていかないと、その全国的な傾向と、うちの傾向とは、また、ちょっと違うんじゃないかっていうことも考えていかなきゃいけないっていうことがひとつ。

2つ目。この表を見てわかる通り、今の高校の選択ってすごく広がってきたんですよ。先ほどの定時の話もそうなんですけど、こことこことこの中から選ぶっていうよりも、色んな選択肢がありますよ。特に、中標津支援学校の下の札幌新陽、クラーク国際、帯広北、いろんな子供たちの状況に応じた選択肢が増えてきたので、そちらの数字がかなり伸びてきてるっていうのもあるんです。

だから、地元に行こうっていうだけじゃなくて、他のところに広げていこうっていう、これは子供から見れば、私は良い傾向なのかなっていう風に思います。

ここしかないから、ここに行こうっていう選択ではなくて、自分がここに行きたいからっていう。そこは環境は恵まれてきたなど。その分、翔洋が、しわ寄せが来ちゃったのかなっていうのが2つ目。

3つ目。この世代の子供たちはちょっと学力は、テストを見たらちょっと高い、この前の報告書のように高いです。それとまた、自分はこんな風にやっといこうって言うそのさっきの選択に、学力的に行けるっていうところも、挑戦としてはあったのかなっていうのが3つ目です。

最後なんですけども、これから、どうやっていくのかということにもなってくるんですけど、町長部局との話をしながら全体の中で考えていかないと、町づくりの中での翔洋の位置付けっていうのはしっかり考えていかないとなら

## ●教育長

ないなど。一方で80人っていう、入定員数が二間口80人っていうのが、今卒業生が55人に対して80人っていうのが本当に適正なのかっていうのは、必ず適正配置計画の中で求められます。

私は、必ず町長と教育長、市長と教育長っていう適正配置計画の会議があるんです。その中で私は毎年同じことを言ってるんですけども、厚岸の場合、北海道の産業の後継者を育てている、例えば農業とか、例えば漁業。そこが人数が少ないからといって減らす方向っていうのは、本当にいいんだろかって考えてくださいよ。で、北海道としてその一次産業の後継者どう育てるんだ、その中に高校がどういう位置付けなのかっていうのを考えていかないと、少ないから潰すっていうそういうのはかなり乱暴だと思うんですっていうような話をするんですけど。

今回のでいくと、そうは言いつつも地元から海洋資源を選択してる人がいないじゃないか。という風に、ここは、言われるのはもう目に見えるんですよ。

だから、ここは、なんとか他から来るっていうのもそうなんですけども、やっぱり、地元のここから選ばれていかないと後継者っていうところの、位置付けがどうしても薄くなるということがあるんですね。

これから、変更等は、あるかもしれないんですけども、大きくこれが倍増するかは、海洋、普通科は別として、外から来るのは別として、地元高校生で大きく変わるっていうことは、あっても2人とか3人とか精々マックスということなので、厳しい状況は変わらないです。

しっかり、こうやっていかないとならない。ただ、やれることは委員会としてはやってきたなっていうことは、あ

- 教育長      るんですけども、成果になかなか繋がっていないという、そんな整理をしています。
- 教育長      よろしいでしょうか。これここで結論を出すとか何とかってことではないんですけど。はい。意見が出たので、はい、それでは他に質疑よろしいでしょうか。  
                  なければ、これで報告第11号を終わります。
- 教育長      次に、日程第6、議案第53号「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。
- 管理課長    ただ今上程いただきました、  
                  議案第53号「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について」  
                  その内容と提案理由についてご説明申し上げます。  
                  議案書3ページをご覧ください。  
                  厚岸町教育委員会職員の人事について決定いたしたく、  
                  地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項  
                  第4号の規定により、本案を提出するものであります。  
                  4ページの別紙をご覧ください。  
                  退職予定者であります。厚岸町への出向。管理課主事の  
                  飛山菜々であります。飛山主事につきましては、本年11  
                  月4日付けで、自己都合による退職願が提出されましたの  
                  で、厚岸町へ出向し、「令和7年12月31日付け」で退職と  
                  なる予定となっております。  
                  以上簡単ではありますが、議案第53号「厚岸町教育委員会  
                  に属する事務局職員の異動について」の提案理由とさせて

●管理課長 いただきます。

ご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

●教育長 内容は「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について」であります。これから質疑を行います。

(ありませんの声)

●教育長 よろしいですか。なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(異議なしの声)

●教育長 それでは、そのように決定いたします。

教育長 次に、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

管理課長 ただ今、上程いただきました、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」その提案理由と内容についてご説明申し上げます。

管理課長 議案書5ページをお開き願います。

厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程において、教育委員会事務局の職名及び定数、教育機関の施設ごとの職名及び定数を規定しており、人事異動や組織見

直しによりその定数等に変更が生じるときに改正をしております。

改正内容につきましては、別にお配りしております議案第54号説明資料「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令新旧対照表」でご説明いたします。

厚岸町教育委員会の定数は、厚岸町職員定数条例第2条に規定する別表により37名とされております。

この度の令和7年12月31日付け人事異動により、管理課が退職することから、

厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程に規定している「1 教育委員会事務局」欄の「主査・主任・主事を2」に、「計を10」に改正する内容であります。

附則であります。この訓令は、令和8年1月1日から施行するものであります。

以上簡単ですが、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」のご説明とさせていただきます。

ご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

**教育長**           内容は「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」であります。これから質疑を行います。

(ありませんの声)

**教育長**           なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(異議なし)

教育長            それでは、そのように決定いたします。

教育長            次に、議案第55号「厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

指導室長          ただ今上程いただきました、議案第55号「厚岸町環境教育推進委員会委員の委嘱について」、提案理由とその内容についてご説明申し上げます。

                    議案書7ページをご覧ください。

                    令和7年4月1日より委嘱された委員について、厚岸町役場職員 環境林務課長 鈴木康史氏が令和7年10月1日付け人事異動で保健福祉課へ異動となり、後任として江上圭氏が就任されたため、厚岸町環境教育推進委員会設置要綱第3条第1項の規定により新たに委嘱いたしたく、本案を提出するものであります。

                    氏名等でございます。厚岸町役場職員、江上圭委員、環境林務課長、任期については、令和7年10月1日から令和8年3月31日までとなっております。

指導室長          以上、簡単な説明でございますが、議案第39号「厚岸町環境教育推進委員会委員の委嘱について」の説明とさせていただきます。ご審議の上ご承認いただきますよう、よろしく願いいたします。

教育長            内容は「厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について」で

あります。これから質疑を行います。

(ありませんの声)

**教育長**           なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(異議なし)

**教育長**           その他、総体的に何かございますか。森脇委員。

**森脇委員**       教育委員会に限った話ではないと思いますけれども、役場の若い方々がどんどん辞めて行っているのかなと思っています。今回もまた減るのかなと思っているんですけど。

これは、さっきの高校の話じゃないですけど、町からやっぱり出ていくっていうのが多い。これだけじゃなくて、逆はないですけど、大人でも、今、若い人が仕事を選び込んでいるっていうあれなんですけど、出ていくのがあって、とても気になっていたんですけど、これは、働いている人の、魅力的な職場ってこと、いろんな条件があると思うんですけど、仕事の内容だったり、お給料かもしれないんですけど、教育委員会の中じゃなくて、上に上げて欲しいと思うんですが、もっとこの若い人は職員が残るような形の職場ではないと、町全体だめなんじゃないかと思っています。

**森脇委員**       ここでは、どうこうはできないんですけど、働く人が、ここで働きたいなという形になるような、給料なのか、仕事内容なのか、町の雰囲気なのか、色々あると思うんです

けど、そこを両方で考えていただかないとだめなのかなと思って。いつも人が減ってく時に思っています。これを1つの意見としてお伝えしたいんですけど、よろしく願いします。

#### 管理課長

その他ということで私のほうから回答させていただきます。今回、職員、管理課職員という事で、私の力不足かなと、正直、思ってます。これから、おそらく、こういう職員、森脇委員がおっしゃられるようにですね、選び放題っていう、また若い方、中年、何て言うのかな、係長職のもですね、今、辞めて他の自治体に入るとか、他の企業に入るといった方がいらっしゃいます。

退職される際には、なんで辞めるのっていうのは聞いて、なんですけども、正直、口を割らないのがほとんどです。言いにくい。特に、職場の雰囲気が悪ければ、なおさらです。他の職員も実は、相談を受けている状況ではあるんですが、やっぱり、人それぞれ感じ方だとか、または能力の問題、できる、できない、それも含めて職場の雰囲気ですよ、今は、ちょっと言っただけで自分もパワハラだなんて言われたりですね、するのかなって、ビクビクしながらちょっと仕事してますが、なるべく、僕がする側じゃなくて言われる側じゃなくて、そういう風に誰かからきつく言われた時にもフォローする体制っていうのは、僕は、聞いてないようで実は聞いてます。

見てないようで見てます。やっぱりそういう、日頃からの職員に対する、目配り気配りが、我々、管理職に求められているのかなと思っていますし、やっぱりそういう、職場の雰囲気が悪くて辞めるっていうのは一番最悪だと思います。

ますね。

**管理課長**

それは何としても避けて行きたい。ちょっと、やっぱり、きついことを言う事もあるんです。それは当然かなと思いますけど。なるべくでしたらやっぱり、職員との、日頃からの、声かけですとか、様子見、変だなと思ったら、声かけするとか、とっております。

我々もなるべくだったら、ここを一緒に働く、せっかくのご縁ですから、相談受けた時は、一回考えないかい、だとか、そういうフォローじゃないですけど、その辺は、行なっていますので、その辺はご理解ください。

**森脇委員**

はい、もちろんです。今、どこの町も人をキープするための動きに入ってきていると。人材が出ていかないような、なるべく、良い条件でというのが聞こえて、最初は、もちろん人が入ってこないですけど、やっぱりこの役場が、こういうふうに出ていくってなると、ちょっと何でしょう、町の魅力じゃないけど、ちょっとまずいのかと思っています。

だからとりあえず、お給与もちょっと他の町のと色々聞くと、色々差があるんですか。だから辞める人に聞くとそっちの方がいいんだよねみたいなのは聞くんで、最低限の魅力的な部分はやっぱり残して、人を採用しないと残っていかないんじゃないかと思ってて、町の人々の雰囲気とかだけじゃなくて、基本的な部分があるのかなと思って聞いていましたので。

そうですね、やっぱり、あまり辞めない方がいいなど、ここだけじゃないんですよ、全体の話で見ているので、ぜひよろしくお願いします。

●教育長 さっきの翔洋高校のところも、ずっと突き詰めるとその町の魅力だとか、人だとか、職場だとかそういうところに繋がってくるかもしれないですね。

はい。もちろん、特効薬はないですし、これだっていう、根本的なものなんですけども、ただ手をこまねいていても、それは時間が過ぎていくだけなので、まず、地域みから留学やってみようとか、何かをやってみようとかって、色んな手は打つんですけど、まだまだ成果の結びついてはいない。全体的な成果には結びついてはいないんですけども。でも、この歩みは止めないようにしっかりやって行きたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

●教育長 よろしいでしょうか。

(ありませんの声)

●教育長 以上で、本日の会議日程は全て終了しました。  
これをもちまして、第16回教育委員会を閉会します。